



Tendo®



Roll Press Wood

天童木工®

Roll Press Wood

天童木工の軟質針葉樹圧密化・成形技術

Roll Press Wood

地域に眠る未活用のスギやヒノキは
美しくて丈夫な家具に生まれ変わります

戦後復興期に、将来の建材としての需要を見込み

成長の早いスギやヒノキ、カラマツなどの軟質針葉樹の植林が

日本各地で大規模に行われました。

しかし、日本の森林面積の約4割を占めるこれら人工林の多くは今

輸入材の増加や林業の低迷などにより、手つかずのまま放置されています。

木製家具づくりを専業とする私たち天童木工は

軟らかい性質ゆえに家具には不向きとされていた軟質針葉樹から

高い強度とデザイン性を兼ね備えた家具を作る

独自技術「Roll Press Wood」で、この問題に取り組んでいます。

さらに、この技術を応用し、難燃材や準不燃材、防腐木材として

スギやヒノキ、カラマツの新たな可能性を引き出す研究も進めています。

地域に眠る軟質針葉樹を、丈夫で美しい家具として再び地域に還元する技術。

それが天童木工の「Roll Press Wood」です。



柔らかい性質の針葉樹から 高い強度を持つ美しいデザインの家具づくりを実現する技術

スギやヒノキ、カラマツなどの軟質針葉樹は、主に柱やフローリングの材料として利用されています。しかし木材自体が軟らかく傷つきやすいため、表面材などに使う場合はプレス機で1000~2000tの圧力をかけ強度と硬度を上げます。ただしこの方法はフラットな面に使うことを想定しているため、繊細な曲面をもつ家具づくりには向きません。また、プレスする際に長時間にわたって熱を加え

るので、木材の表面が黒く焦げてしまうという課題もあります。

天童木工が開発した軟質針葉樹圧密化・成形技術である「Roll Press Wood (RPW)」は、独自に開発した「圧密加工」と当社のコア技術である「成形合板」を組み合わせることで、それらの課題をクリアしました。これにより、柔らかい性質の針葉樹から広葉樹と同程度の高い強度と木目本来

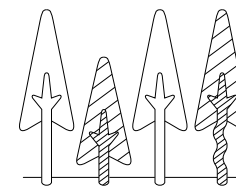
の美しさを備え、かつ無垢材では実現できない複雑な曲面や繊細なフォルムをもった美しい家具づくりが可能になりました。

2013年に「Roll Press Wood」の特許を申請して以来、各地の自治体などから地元産の軟質針葉樹を使った家具製作の依頼を数多くいただいています。また、明るい色味が特徴的なスギ(記号:SG)の家具をFシリーズとして展開しています。

RPWができるまで

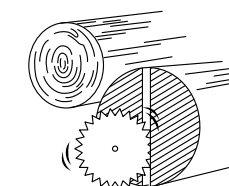
1. 〈伐採〉

RPWの材料となる木材は、日本各地で植林されているスギ、ヒノキ、カラマツなどの軟質針葉樹です。主伐材のほか、森林を健全に保つ間伐で発生した間伐材も対象となります。材料の確認は、必要に応じて立ち木の状態から当社担当者が伺うことも可能です。



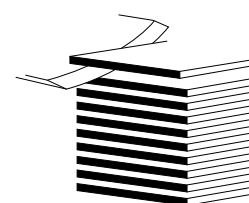
2. 〈製材〉

一般的な成形合板家具の場合、十分に乾燥させた丸太をカツラ剥きのようにして単板を製作しますが、RPWでは後に圧密の工程が入るため、乾燥せず生木の状態で丸太を加工します。その際、無駄が出ないように職人が丸太ごとに取り方を判断していきます。



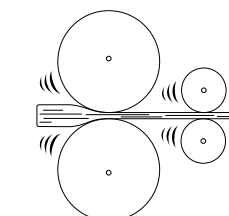
3. 〈単板製作〉

製材加工した木材から専用のスライサーを用いて厚さ1~5mmの単板を製作します。単板を切り出しやすいよう、事前に木材を煮沸して加工の精度と効率を上げます。またプレス前に単板にすることで、圧密の時間が短縮され熱による変色を防ぐことができます。



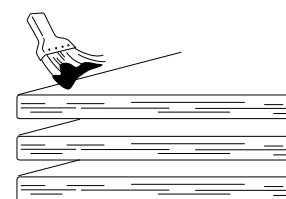
4. 〈圧密〉

最適な厚さに切り出した単板を、大きなローラーで圧密(プレス)した後、小さなローラーで厚みを固定します。大小2つのローラーを使用することで、圧密の時間を短縮し熱を抑えて加工できるため、表面の色味が変化しないのがRPW最大の特徴です。



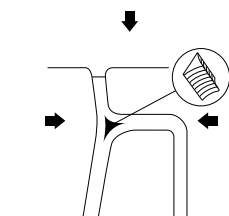
5. 〈接着剤の塗布〉

ここからは、一般的な成形合板家具と同じ製造工程に入ります。理想的な厚さに圧密加工された単板に接着剤を塗布し重ね合わせます。完成品のデザインによって重ねる厚さが微妙に異なるため、木の性質に対する豊富な知識と熟練の職人技が要求される工程です。



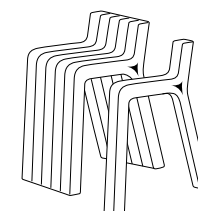
6. 〈成形〉

接着剤を塗布し重ね合わせた単板を成形合板用の型(治具)に入れます。ここで加圧・加熱し接着剤を固めて成形することで、強度を高めます。また、イスでは右図のような「コマ入れ成形」を行い、美しいフォルムと高い強度を両立した家具づくりを実現します。



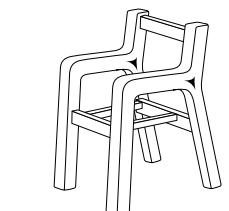
7. 〈成形完成、挽き割り〉

接着剤がしっかり固まったら型から取り出し、所定のサイズにパーツを切り出します。これを挽き割りと言います。挽き割りしたパーツをチェアのフレームなどに用いると、横から見たときに継ぎ目のない成形合板ならではの美しい曲線を描くデザインが可能になります。



8. 〈加工、組立〉

最後に挽き割りしたパーツを図面通りに組み立てます。この工程に限らず、RPWの家具づくりには高度な技術と細心の注意が要求されます。天童木工では「マイスター」の称号を受けた職人をはじめ、多くの職人たちが高品質で安全な製品づくりに努めています。



Roll Press Wood とは



Roll Press Wood 新技術「圧縮浸漬処理」とは

難燃性能や防腐・防蟻性能などの機能を木材に付加し 軟質針葉樹の可能性を大きく広げる技術を開発

日本各地に手つかずのまま放置されている人工林のスギやヒノキ、カラマツから、丈夫で美しい家具づくりを実現する「Roll Press Wood (RPW)」。私たち天童木工は、軟質針葉樹の建材以外の利用価値を提供するこの技術をベースに、さらなる需要を喚起する新技術の開発に取り組んでいます。そのひとつが、RPWのプレス工程に「圧縮浸漬処理」を組み込み、家具にさまざまな機能を付

加する技術です(特許公開中)。

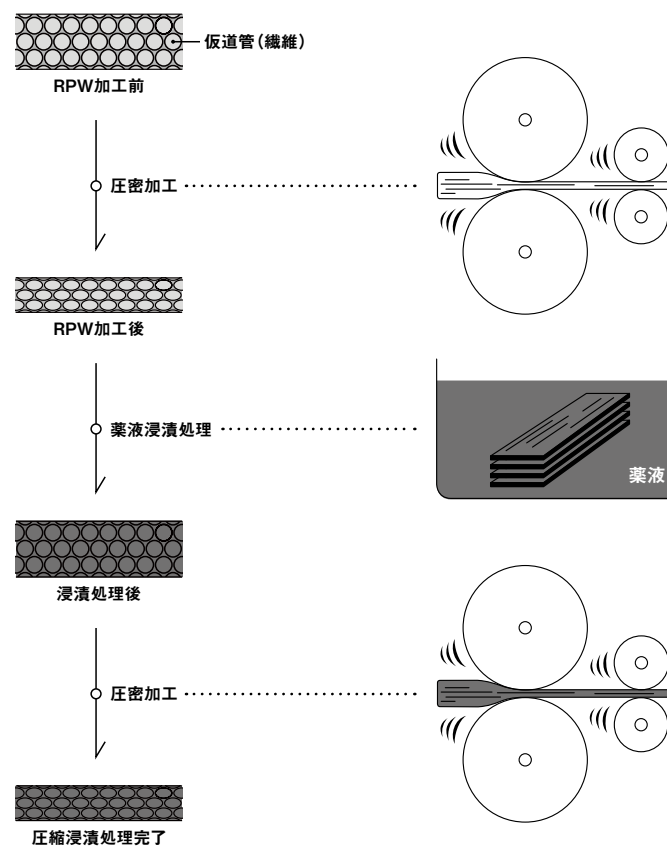
この技術の特徴は、丸太から切り出した単板を通常のRPWと同様の工程でプレスした後に薬剤浸漬処理を行う点です。一度圧縮した単板は薬剤が通りやすく、しっかり絞ったスポンジのように、変形回復効果によって浸透性が向上します。

また、角材を大きな窯で減圧・加圧して薬剤を注入する「加圧注入処理」とは異なり、

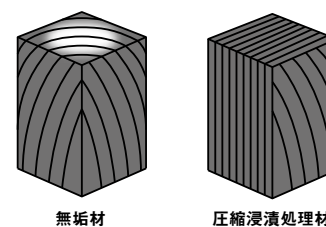
当社の「圧縮浸漬処理」は下のイラストのように薄い単板を処理するため、部材の内部まで均一に薬液が行き届くほか、乾燥時間が短いのも特徴です。

RPWに「圧縮浸漬処理」を組み合わせることで、難燃性の高い木製家具や、屋外でも使える防腐・防蟻処理、高耐候性塗装を施した木製家具など、軟質針葉樹による家具づくりの可能性はさらに広がります。

「圧縮浸漬処理」の作業工程



当社の圧縮浸漬処理材の特徴



一般的に採用されている薬液処理法は、大きな窯に木材を入れ減圧・加圧処理を行い薬剤を注入する「加圧注入処理」です。天童木工の「圧縮浸漬処理」は、薄い単板を処理するため部材の内部まで均一に処理できます。

「圧縮浸漬処理」で広がる 軟質針葉樹による家具の可能性

難燃性

不特定多数の人が集まる場所での 使用を想定した家具

高層建築物や地下街では、消防法によって防災性能を有するカーテンやじゅうたんを使用することが義務づけられているのに対し、家具はいまだにその対象になっていません。また、劇場やホールなど不特定多数の人が集まる場所で火災が発生した場合、大災害につながりかねません。しかし、実際の火災では、家具や書架などから燃え始めると言われています。したがって、難燃性能を有する家具や木製の壁面パネルなどは、悲惨な事故を未然に防ぎ、安全な空間の提供につながると考えられます。

天童木工では、家具にさまざまな機能を付加できるRPWの圧縮浸漬処理によって難燃性の高い家具づくりの開発を進めています。「国立研究開発法人 建築研究所」にて実施した自社規格による燃焼試験では、難燃性の機能を付加した家具は、ガスバーナーによる激しい炎にさらされても燃え上がらず、高い性能が確認されています。

耐候性

ベンチや手すりなど 屋外での使用を想定した家具

屋外に置かれるベンチや手すりは、プラスチック製か金属製が一般的です。木製のものでは満足いく耐久性が得られないことも、その理由のひとつとなっています。

天童木工では、「圧縮浸漬処理」の技術を応用し、木材に防腐・防蟻処理や寸法安定処理、高耐候性塗装を施すことに成功しました。これにより、木材本来の美しさを活かしながら、軽やかでデザイン性の高い木材製品を提供することが可能になりました。

施設内だけでなく、テラスやデッキ、外階段といった屋外に設置するベンチやテーブルも、地元産の軟質針葉樹でトータルコーディネートすることもできます。

RPWに関するQ&A

(Roll Press Wood)

Q 圧密後の軟質針葉樹の強度はどれくらいか

A 広葉樹と同程度までアップします

木材の強度は比重(密度の比)で測ります。一般的な成形板家具に使われるホワイトビーチやナラなどの広葉樹の場合、比重はおよそ0.63~0.72です。一方、軟質針葉樹のスギやヒノキ、カラマツは0.32~0.48程度となります。これら軟質針葉樹は圧密加工することで、広葉樹と同程度となる0.63~0.76まで比重がアップするため、家具として十分耐える強度を保っています。

材 料	気乾比重	圧密後の比重	単板と圧密材の比較 (顕微鏡画像)	
ホワイトビーチ	0.72	—		圧密加工前(スギ)
ブナ	0.63	—		
ナラ	0.67	—		圧密加工後(スギ)
スギ	0.32	0.63(50%圧密)		
ヒノキ	0.46	0.76(40%圧密)		
カラマツ	0.48	0.66(30%圧密)		

※ 記載の数値は全て平均値となります。ホワイトビーチ、ブナ、ナラ(ミズナラ)、一般的に伝えられている数値。スギ、ヒノキ、カラマツについては社内材の実測値になります

Q 軟質針葉樹の材木を使うメリットとは

A 針葉樹は生木のままで加工できます

広い意味では、日本の森林を健全な状態にするほか「地産地消」の家具が作れるなど、数多くのメリットがあると考えられます。製造工程においては、丸太を乾燥させずに加工できることが挙げられます。広葉樹の場合は伐採した丸太を3~5年かけて乾燥させます。軟質針葉樹でも、無垢材を使う場合は乾燥が必要となります。それらに比べ、乾燥のいらぬRPWによる家具づくりは、伐採から製品完成までの時間が短いため、地元産材を使った家具を検討いただく際の大きな利点と言えます。



Q 軟質針葉樹を使った家具の見た目の特徴とは

A 表情豊かな木目が特徴です

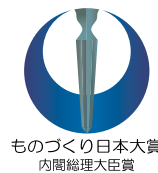
軟質針葉樹のなかでも、スギの「源平」と呼ばれる材は、赤身(心材)と白太(辺材)の差がはっきりしているのが特徴です。RPWは大小2つのローラーを使い、短い時間でプレスします。木材に加える熱を抑えながら高い強度を出せるため、表面が黒く焦げず、軟質針葉樹のもつ表情豊かな木目の特徴を生かした家具づくりが可能です。



Q 「ものづくり日本大賞」を受賞した圧密成形加工技術とは

A RPWの原型となった技術です

軟質ゆえに家具には不向きとされていた軟質針葉樹から、高品質な家具を量産するために、天童木工が研究開発を続けていた技術です。これをベースに、現在のRPWが実現しました。製造方法の開発だけでなく、森林環境の改善や木材の地産地消の活性化にもつながるということで、「第6回ものづくり日本大賞(2015年11月発表)」の内閣総理大臣賞(製品・技術開発部門)を受賞しました。

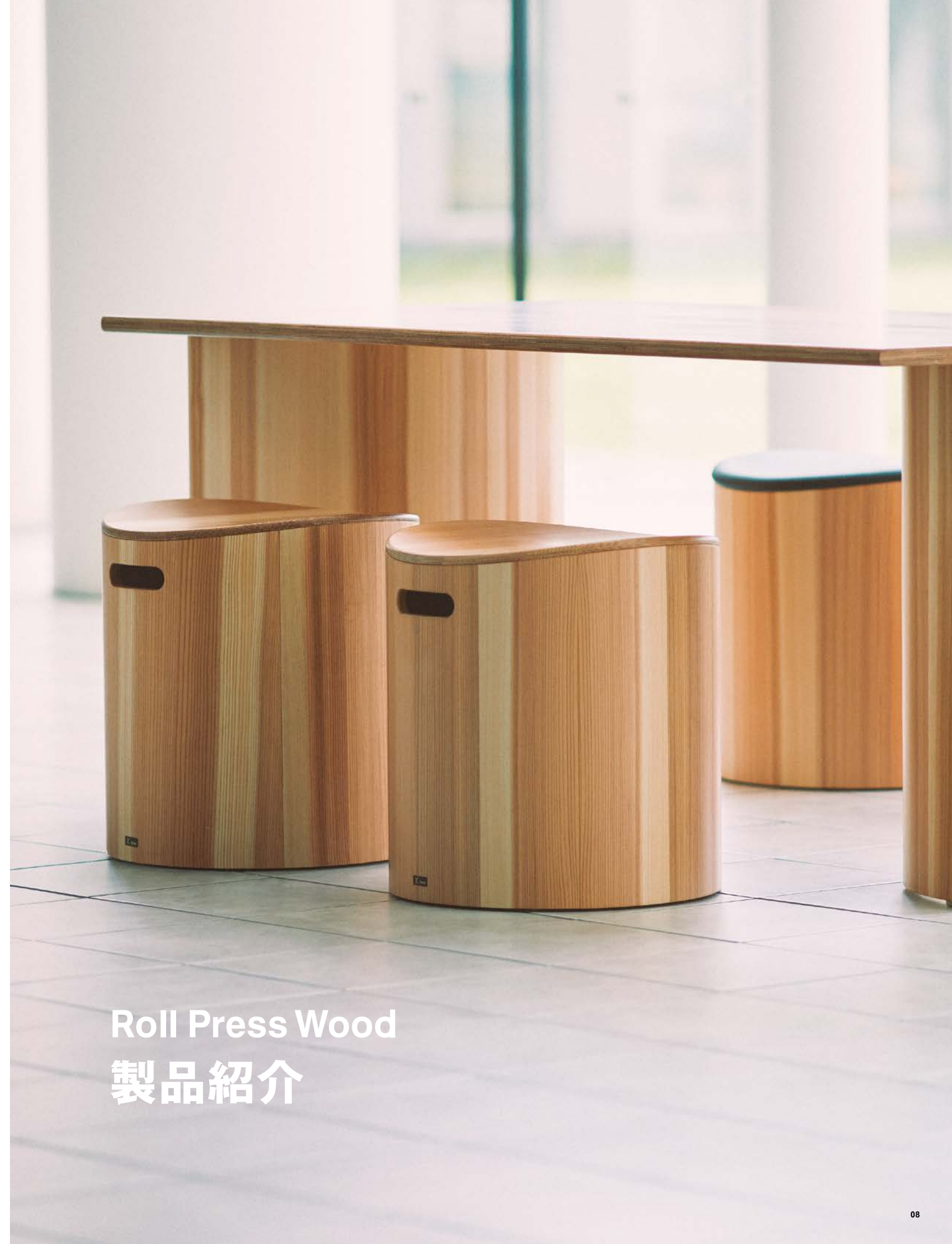


内閣総理大臣賞
製品・技術開発部門
案件名:軟質針葉樹の圧密成形加工技術開発・実用化及び家具用材への利用拡大

Q 「地産地消」の家具にはどんな特徴があるのか

A 生育地域で風合いが変わります

南北に長く四季のはっきりした日本では、各地で気候や風土、土壌が異なります。軟質針葉樹もその影響を受けるため、生育する地域によって木目の風合いや肌触りが異なります。つまり「地産地消」の家具とは、その土地ならではの季候風土が作った木目をもつオンリーワンの家具と言えます。

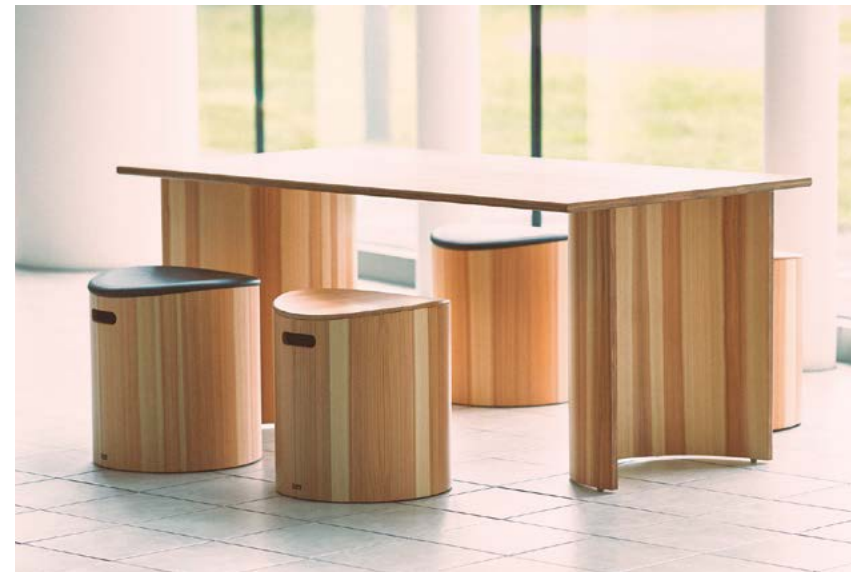


Roll Press Wood
製品紹介



チェア
F-3249SG-NT/AG
スギ圧密材(ナチュラル/AG色)
W474 D465 H790 SH430

テーブル
F-2738SG-NT/AG
スギ圧密材(ナチュラル/AG色)
Wφ900 H700



スツール(板座)
F-3252SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
Wφ420 H460 SH440

スツール(張座)
F-3253SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
Wφ422 H470 SH451

テーブル
F-2741SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W1600 D900 H700



ベンチ
F-5662SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W2000 D500 H430 SH380



イージーチェア
F-3257SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W700 D809 H851 SH400

テーブル
F-2744SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W550 D550 H550



テーブル
F-2743SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W750 D750 H550



チェア
F-5513SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W470 D505 H805 SH445



スタッキングチェア
F-3259SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W432 D524 H780 SH430



スタッキングチェア
F-3260SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W432 D524 H780 SH440



テーブル
F-2737SG-AG/NT
スギ圧密材(AG色/ナチュラル)
W1500 D850 H700



テーブル
F-2656SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W1400 D850 H700



アームチェア
F-3250SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W559 D514 H755
AH658 SH430



アームチェア
F-3251SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W559 D514 H755
AH658 SH446



テーブル
F-2740SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
Wφ1000 H700



テーブル
F-2739SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W1600 D800 H700



イージーチェア
F-3254SG-BW/NT
スギ圧密材(BW色/ナチュラル)
W594 D621 H713 AH600 SH389



イージーチェア
F-3242SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W598 D665 H697 AH570 SH397



テーブル
F-2736SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W600 D600 H460



座卓
F-0263SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W755 D755 H335



座卓
F-0228SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W1210 D755 H335



コートハンガー
F-4107SG-NT
スギ圧密材(ナチュラル)
W446 D450 H1798



コートハンガー
F-4115SG-BW/NT
スギ圧密材(BW色/ナチュラル)
W494 D494 H1750



デスク

F-6841SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W2050 D2050 H720

キャビネット(ロッカー付)
F-8080SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W3000 D450 H2000

ワーキングチェア
F-7316SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W736 D737
H1229 (1272~1202)
AH660 (703~633)
SH460 (503~433)

アームチェア
F-7320SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W651 D662 H812 AH580 SH418

ワゴン

F-6842SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W450 D590 H610

キャビネット
F-8081SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W2100 D500 H730

会議テーブル
F-9424SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W2100 D1050 H700



イージーチェア

F-7318SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W860 D813 H840 AH585 SH398

ソファ

F-7319SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W2020 D813 H840 AH585 SH398

テーブル

F-6843SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W1600 D800 H450

サイドテーブル

F-6844SG-CH/NT
スギ圧密材(CH色/ナチュラル)
W650 D650 H450



ワーキングチェア

F-3258SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W623 D668 H924(998~908)
AH634(708~618) SH460(534~444)

会議テーブル

F-9424SG-NT/CH
スギ圧密材(ナチュラル/CH色)
W2100 D1050 H700



イージーチェア

F-3256SG-BW/NT
スギ圧密材(BW色/ナチュラル)
W770 D740 H740 AH570 SH405

テーブル

F-2742SG-BW/NT
スギ圧密材(BW色/ナチュラル)
W1200 D600 H450



スギ圧密材には4種類のカラーバリエーションがあります。
製品番号末尾のアルファベットはその製品の木部の色
を表します(特注に関してはこの4種類に限りません)。

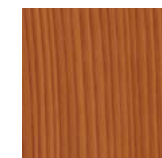
掲載写真の木部の色を表します

F-3249SG-NT/AG

その製品でご用意している木部の色のバリエーションを表します



NT
(ナチュラル)



CH
(チェリー色)



BW
(ブラウンウォールナット色)



AG
(アッシュグレー色)

Roll Press Wood 納入事例

都道府県	納入先	材	納入品
北海道	幕別町役場	カラマツ圧密材 (幕別町産)	応接室・ロビー家具
青森県	五所川原市役所	ヒバ圧密材 (青森県産)	会派室・上級室・ロビー家具他
岩手県	(代表)小松太鼓店	スギ材	さんさ太鼓胴
	大崎市図書館	スギ圧密材 (大崎市産)	閲覧室家具
宮城県	気仙沼プラザホテル	スギ圧密材	応接室家具
	南三陸町役場	スギ圧密材 (南三陸町産)	議場・町長室・議長室・応接室・ロビー家具
秋田県	能代市役所	スギ圧密材	議場家具
	大江町中央公民館・大江町立図書館「ぶくらす」	スギ圧密材 (大江町産・西山杉)	閲覧室家具
	おもてなし山形 株式会社	スギ圧密材 (山形県産)	ワゴンショップ
	株式会社 YCC情報システム	スギ圧密材 (山形県産)	応接室家具
	きらやか銀行 天童南支店	スギ圧密材	カウンター
	社会福祉法人山形 サンシャイン大森	スギ圧縮浸漬処理材 (→ p.6)	屋外家具
	JR山形駅 待合室	スギ圧密材 (山形県産)	待合室家具
	荘内銀行	スギ圧密材 (金山杉)	本部受付カウンター
山形県	天童市立高橋公民館	スギ圧密材 (天童市産)	閲覧室家具
	天童市立成生公民館	スギ圧密材 (天童市産)	閲覧室家具
	特別養護老人ホーム 清幸園	スギ圧密材	食堂家具他
	西川町民体育館	スギ圧密材 (西川町産・西山杉)	ベンチシート
	山形空港	スギ圧密材 (山形県産)	待合室家具
	山形県森林組合連合会	スギ圧密材 (金山杉)	応接室家具
	山形銀行	スギ圧密材	各支店ATMコーナー家具
	山形縣護国神社	ヒノキ圧密材	カウンター・待合室家具
	米沢信用金庫	スギ圧密材 (山形県産)	応接室家具
	石川町役場	スギ圧密材 (石川町産)	町長室・会議室・議長室・副議長室家具
	喜多方市役所	スギ圧密材 (飯豊杉)	市長室家具
	喜多方地方広域市町村圏組合 斎場	スギ圧密材 (喜多方市産)	待合室家具
	くみの郷	スギ圧密材	カウンター・レストラン家具
福島県	国見町役場	スギ圧密材 (国見町産)	議場・エントランス家具
	塩川総合支所	スギ圧密材 (喜多方市産)	カウンター
	棚倉町役場	スギ圧密材 (福島県産)	展示ケース
	道の駅 国見 あつかりの郷	スギ圧密材 (国見町産)	カウンターテーブル・ラウンドテーブル
	南会津町役場	スギ圧密材 (南会津町産)	副市長室・応接室家具他
栃木県	茂木町まちなか文化交流館 ふみの森もてぎ	スギ圧密材	閲覧室家具
群馬県	富岡市役所	スギ圧密材 (富岡市産)	議場家具・カウンター
千葉県	石井食品 株式会社	スギ圧密材	サロン・待合スペース・ライブラリー家具
	学校法人 東京聖徳学園 聖徳大学	スギ圧密材	教室家具

都道府県	納入先	材	納入品
	神川町役場	ヒノキ圧密材 (神川町産)	ロビー家具
埼玉県	休隠村奥武蔵	スギ圧密材 (飯能市産・西川材)	レストラン・客室・ロビー家具
	秩父広域市町村圏組合 秩父斎場	スギ圧密材 (秩父市産)	エントランス・待合室家具他
東京都	大志満 新宿店	スギ圧密材	和食レストラン家具
	港区役所	スギ圧密材 (檜原村産)	区長室・ロビー家具
新潟県	えちごトキめきリゾート 雪月花	スギ圧密材	車輛家具
富山県	富山県民会館	スギ圧密材	ロビー家具
	富山市立図書館	スギ圧密材	閲覧室家具・カウンター他
福井県	高浜町役場	スギ圧密材 (福井県産)	議場家具
	大鹿村役場	カラマツ圧密材 (大鹿村産)	カウンター
長野県	かんでんばばガーデン そば処 榎の木	スギ圧密材	レストラン家具
	道の駅「歌舞伎の里大鹿」	カラマツ圧密材 (大鹿村産)	レストラン家具他
静岡県	富士山静岡空港	スギ圧密材 (静岡県産)	特別会議室家具
	富士宮市大富士交流センター	ヒノキ圧密材 (富士ひのき)	ロビー家具
三重県	伊賀市役所	スギ圧密材	議場家具
京都府	京都木材会館	スギ圧密材 (京都市産)	会議室家具
兵庫県	多可町役場	スギ圧密材 (多可町産)	議場家具
	川上村役場	スギ圧密材 (吉野杉)	村長室・応接室家具
奈良県	奈良県農業研究開発センター	スギ圧密材 (奈良県産)	ホール家具他
	ホテル 杉の湯	スギ圧密材 (吉野杉)	応接室家具
	新宮市役所	スギ圧密材 (新宮市産)	議場家具
和歌山県	和歌山県信用保証協会	スギ圧密材 (紀州産)	会議室家具
鳥取県	飯南町役場	スギ圧密材 (飯南町産)	町長室・ロビー家具
岡山県	落合総合センター	ヒノキ圧密材 (真庭市産)	閲覧室家具
山口県	周南市役所	スギ圧密材 (周南市産)	議場家具
徳島県	阿波市役所	スギ圧密材	議場家具・カウンター
愛媛県	伊予市役所	ヒノキ圧密材 (伊予市産)	議場家具
	黒潮町役場	ヒノキ圧密材 (黒潮町産)	議場家具
高知県	高知県警察 南国警察署	スギ圧密材 (高知県産)	執務室家具
	高知県立高知城歴史博物館	スギ圧密材 (高知県産)・ヒノキ圧密材 (高知県産)	会議室・応接室家具
	高知県立大学 永国寺キャンパス	スギ圧密材 (高知県産)・ヒノキ圧密材 (高知県産)	ラーニング commons 家具
福岡県	筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館	スギ圧密材 (八女市産)	教室・工房家具
長崎県	長崎県庁	スギ圧密材 (長崎県産)	議場家具
鹿児島県	出水市役所	ヒノキ圧密材 (出水市産)	議場家具・カウンター

Roll Press Wood 製品の納入事例



国見町役場：ジェイアル東日本建築設計事務所 撮影 JR EAST DESIGN CORPORATION (国見町産スギ)



富岡市役所：隈研吾建築都市設計事務所 (富岡市産スギ)



伊予市役所：日本設計 (伊予市産ヒノキ)



出水市役所：東畑建築事務所 (出水市産ヒノキ)



黒潮町役場：山下設計 (黒潮町産ヒノキ)



多可町役場：梓設計 (多可町産スギ)



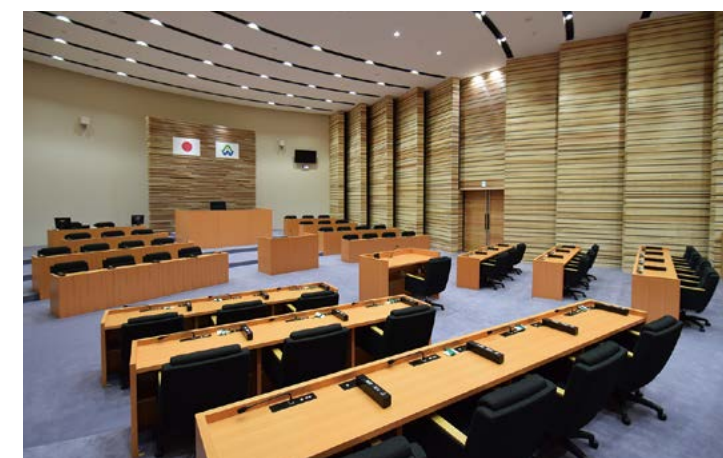
南三陸町役場：久米設計 (南三陸町産スギ)



周南市役所：日建設計 (周南市産スギ)



長崎県庁：日建設計・松林建築設計事務所・池田設計 共同企業体 (長崎県産スギ)

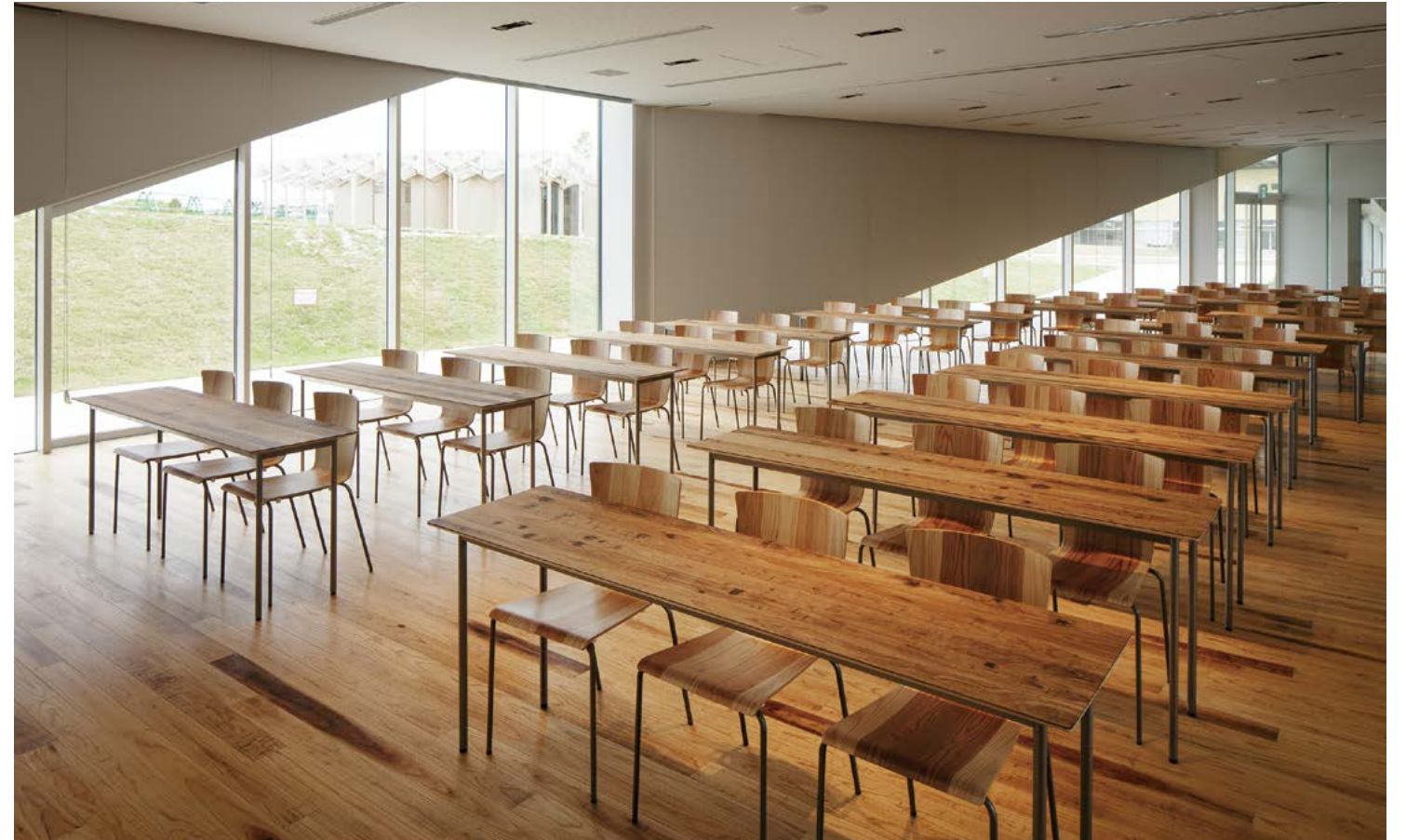


阿波市役所：アール・アイ・エー (スギ)

Roll Press Wood 製品の納入事例



出水市役所：東畑建築事務所（出水市産ヒノキ）



筑後広域公園芸術文化交流施設 九州芸文館：隈研吾建築都市設計事務所 撮影 KAI NAKAMURA PHOTOGRAPHY（八女市産スギ）



幕別町役場（幕別町産カラマツ）



飯南町役場（飯南町産スギ）



茂木町まちなか文化交流会館 ふみの森もてぎ（スギ）



高知県立高知城歴史博物館（高知県産スギ・高知県産ヒノキ）



五所川原市役所（青森県産ヒバ）



落合総合センター（真庭市産ヒノキ）



京都木材会館（京都市産スギ）



奈良県農業研究開発センター（奈良県産スギ）



大崎市図書館：佐藤総合計画 / 藤江和子アトリエ 撮影 浅川敏 (大崎市産スギ)



休暇村奥武蔵 (飯能市産スギ(西川材))



富山市立図書館：隈研吾建築都市設計事務所 撮影 KAI NAKAMURA PHOTOGRAPHY (富山県産スギ)



大江町中央公民館・大江町立図書館「ぶくらす」：平吹設計事務所 (大江町産スギ(西山杉))



JR山形駅 待合室 (山形県産スギ)



えちごトキめきリゾート雪月花 撮影 Yasuyuki KAWANISHI + ICHIBANSEN/nextstations (スギ)



高知県立大学 永国寺キャンパス (高知県産スギ・高知県産ヒノキ)



道の駅「歌舞伎の里大鹿」(大鹿村産カラマツ)



山形空港 (山形県産スギ)



秩父広域市町村圏組合 秩父畜場 (秩父市産スギ)

地元のスギやヒノキ、カラマツを利用した家具づくりを検討されているみなさまへ

地場産の軟質針葉樹による家具をご依頼いただく際、いくつかご留意点がございます。
①材料となる丸太に関しては、基本的に伐採までご依頼主(自治体/企業/個人)様にご負担いただくようお願いしております。また、木材の有償/無償、切り出した木

材の運搬に関しましては、ご依頼主様と当社とで十分に協議した上で決めさせていただいております。
②地場産の軟質針葉樹が家具の材料として利用できるか判断が不明な場合は、当社にご相談ください。木材に詳しい資材担当

者が伺い、森や木の状態を見た上でどのような用途に使えるかアドバイスいたします。
③木材の産地や樹種などの指定がなく、オーダーメイドではない当社「Roll Press Wood」の規格品をオーダーいただく場合は、山形県産のスギを使用します。

会社概要

社名	株式会社 天童木工
創設	1940年(昭和15年)6月12日
資本金	3億円
従業員数	321名
代表者	取締役社長 加藤昌宏
営業種目	家具・インテリア用品の設計製造および販売、成形合板家具の設計および施工の請負、室内装飾の設計および施工の請負、製材業および木製品の販売、造作材・合板の製造、前記の各項に付帯する事業
生産品目	家具、成形合板、合成樹脂家具、自動車木製内装部品、各種木製品、室内装飾一般

国際品質保証規格[ISO9001]認証取得企業です

ISO(国際標準化機構)制定の品質システムの国際規格[ISO9001]の認証を取得しています。[ISO9001]は製品の設計、開発、製造、検査、保管、引き渡し等、各工程の品質管理システムを顧客の立場に立って評価するもので、EU諸国を中心に世界120ヶ国以上で国家規格として採用されています。これにより、品質保証体制が国際レベルであることが認められました。品質に関する国際基準に合致し、顧客や社会から更に高い信頼をいただける企業を目指し努力を続けてまいります。



森林認証制度による家具づくりが可能な企業です

天童木工本社・工場(東北支店を含む)では[FSC®およびPEFC/SGEC]より、生産・流通・加工工程の管理認証であるCoC認証(Chain of Custody)を取得しました。当社での、木製品の加工・流通においては、責任ある森林管理に由来する資源の利用をすすめ、お客様や、社会のニーズに応えるものづくりに取組むと共に、環境保全の推進に貢献してまいります。



FSC-CoC: FSC®-C134079(SGSHK-COC-350102)
PEFC / SGEC-CoC: SGSJPW099
認証書発行日 / 期限: 2017年2月15日 / 2022年2月14日

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度、とうきょう森づくり貢献認証制度に登録しています



天童木工®

Produce: 天童木工
Planning & Production: 空気読み / taraco design
Printed in Japan 2018-11-00001

お問い合わせ・ご相談はこちらまで

本社・工場・ショールーム&ストア

〒994-8601 山形県天童市乱川1-3-10
TEL.023-653-3121(代表)
FAX.023-653-3454

東北支店

〒994-8601 山形県天童市乱川1-3-10
TEL.023-654-9005
FAX.023-653-3454
E-mail:t-tohoku@tendo-mokko.co.jp

東京支店・ショールーム&ストア

〒105-0013 東京都港区浜松町1-19-2
TEL.03-3432-0401(代表)
FAX.03-3437-9238
E-mail:t-tokyo@tendo-mokko.co.jp

大阪支店・ショールーム&ストア

〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-28
TEL.06-6531-4131(代表)
FAX.06-6531-4935
E-mail:t-osaka@tendo-mokko.co.jp

福岡営業所

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-12-41
(ナビールコート薬院 203号室)
TEL.092-534-7070(代表)
FAX.092-534-7071
E-mail:t-fukuoka@tendo-mokko.co.jp

名古屋連絡所…ご連絡は大阪支店へ

※ショールームを除き、土曜・日曜・祝祭日は休ませていただきます。

美しい日本の森、
愛すべき地域の自然を
次の世代、そして未来へ
残していくためにも

「森を育て、森の恵みによって生かされる」

森林との共生は、古くから日本に受け継がれてきた杉丸太

暮らしの知恵でした。

地元で育った未活用のスギやヒノキ、カラマツが

丈夫で美しい家具へと生まれ変わり

次の世代へと受け継がれていく。

そんな「地産地消」の家具づくりを

私たち天童木工は「Roll Press Wood」を通じてお手伝いします。

季節の移ろいを映し、豊かな自然の恵みを与え

郷土への愛着を育んでくれる地元の森林を

健全でバランスのとれた状態で未来へ残していくために。